



# 第7回 KEC製品安全フォーラム

## 複雑化する時代における製品安全の再構築

IoTやAI、そしてグローバルな社会課題の拡大により、製品を取り巻く環境はこれまでになく複雑化しています。製品の設計・製造から使用・廃棄に至るまで、リスクの捉え方や安全確保の手法も大きく見直しが求められています。こうした背景を踏まえ、本フォーラムでは、複雑化する技術・社会環境に対応した製品安全の考え方を再構築し、実効性の高いリスクマネジメントや、変化に即した安全確保の最新動向について、各分野の第一線で活躍される講師陣をお招きし、ご講演いただきます。

<b>日時</b>	<b>2026年2月20日(金)</b> 13:00～(会場)19:00/(オンライン)17:00	<b>開催場所</b>	<b>大阪コロナホテル</b> 大会議室200AB ハイブリッド形式(会場とZoomオンライン併用)
<b>主催</b>	一般社団法人 KEC関西電子工業振興センター	<b>参加費</b> (消費税込)	<b>会員</b> : 5,500円 <b>非会員</b> : 7,700円

### プログラム

**13:00** **開会の挨拶** 一般社団法人KEC関西電子工業振興センター 専務理事 **柳川 良文**

**[基調講演]**  
**失敗学の視点から製品安全を考える**

**13:05** ~ **13:55** 東京大学 名誉教授 **中尾 政之 氏**

AI・DXの進展や社会の文化的な変化により、従来の「過去の失敗から学ぶ」という姿勢だけでは対応できないリスクが増えてきた。たとえば、10年後のユーザーの使用方法を想定できなかった事例や、規制よりも過酷な条件で検査していたにもかかわらず、30年後に法規との乖離を問われるようなケースがある。本講演では、失敗学の視点から製品安全を捉え直し、違和感の検知や持論形成、シナリオの追体験といった手法を通じて、新たなリスク対応力をどのように育てていくかについて解説する。日本企業はこれまで、安全な製品を作り続けてきたが、現代では国民のリスク許容度も20世紀とは大きく異なり、思わぬ点で社会からの厳しい視線を受けるようになっている。たとえば、長年使用されてきた材料が、突如として環境負荷の面で問題視されるような状況である。いま、エンジニアが自らの設計を改めて見直すことの重要性が高まっている。

----- 質疑応答 (10分) -----

**14:05** ~ **14:45** **製品安全分野のリスクアセスメント**  
独立行政法人製品評価技術基盤機構 製品安全センター 次長(情報解析企画課 課長) **酒井 健一 氏**

製品安全分野のリスクアセスメントは、事故を減らすだけでなく、製品事故リスクを社会が許容可能なレベル(安全領域)まで低減したことを確認するプロセスが重要である。本講演では、リスクアセスメントを実施する際にどこまでリスクを低減すれば安全か、その評価の視点やチェックポイント、実務上の留意点などについて解説する。実施後のリスクアセスメント結果を「見きわめる」際の参考としていただきたい。

----- 質疑応答 (10分) / 休憩 (10分) -----

**15:05** ~ **15:45** **車載バッテリーの安全試験における規格動向と新試験所の特徴**  
エスバック株式会社 テストコンサルティング本部 試験部 あいちバッテリー安全認証センター 所長 **梶原 隆志 氏**

電気自動車のバッテリーに関する国連規則UN Regulation No.100 Revision 3における耐火性において、LPGバーナーを用いた試験方法が選択可能となり、新試験所「あいちバッテリー安全認証センター」にて実際の装置を用いた実験内容や、その他の設備に係る試験の傾向も紹介する。

----- 質疑応答 (10分) -----

**15:55** ~ **16:45** **欧州デジタル製品安全の規制と標準化動向**  
三菱電機株式会社 **神余 浩夫 氏**

欧州は、デジタル製品に関するセキュリティやAI安全等の規制を世界に先駆けて打ち出した。これらの規制は輸出業者だけでなく、国内サプライチェーンへの影響を与えるため、欧州に直接関係ない業者も無視できない。本講演は、欧州デジタル製品安全規制の概要(機械規則、サイバーレジリエンス法、ネットワーク情報セキュリティ指令、AI法等)と、その技術要件である標準化の状況について解説する。

----- 質疑応答 (10分) -----

**16:55** **閉会の挨拶** 一般社団法人KEC関西電子工業振興センター 専門委員会推進部 部長 **岸本 隆**

**17:15~** **懇親会** (大阪コロナホテル 2F レストラン「アデランテ」) ※懇親会は会場参加の方のみ

※プログラムは、事情により変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

**後援** 近畿経済産業局 大阪府

**協賛** 株式会社島津製作所 パナソニック ホールディングス株式会社 ホシデン株式会社 株式会社村田製作所

# お申込み要領

定員

【会場参加】先着 **70**名 【Zoomオンライン参加】先着 **130**名

申込締切

2026年2月5日(木) ※定員になり次第募集を締め切ります。

申込方法

KECウェブサイトの案内ページの“お申込みフォーム”からお申込みください。  
**会場参加申込みフォーム、オンライン参加申込みフォームは入口が異なります。お間違えにならないようお申込みください。**  
お申込み完了後、ご登録メールアドレスに自動返信メールが送信されます。お申込み内容をご確認ください。  
ご入力いただいたメールアドレスに誤りがあると自動返信メールが届きません。  
届かない場合はお問い合わせまでご連絡ください。

送金方法

申込締切後、請求書を送付いたします。  
2026年2月13日までに請求書記載の指定銀行口座に参加費をお振込みください。  
振込手数料はお客様ご負担でお願いいたします。

テキスト

本セミナーのテキストはPDFにて配付します。テキストダウンロード専用ページのURLをメールにてご連絡いたします。  
製本テキストの配付はございません。  
会場参加者は必要に応じてテキストを印刷し、各自ご持参ください。

参加方法

【会場参加】大阪コロナホテル 大会議室200AB



JR「新大阪」駅下車  
東口から徒歩3分(230m)  
大阪コロナホテル別館2F

【オンライン参加】Zoomウェビナー

開講日の前日までに、聴講用URLが記載された案内メールを送信いたします。

## 開催にあたっての注意事項

### 【共通】

- ※ やむを得ず講演内容や配信方法、開催方法を急きょ変更、あるいは、中止する場合がございます。あらかじめご了承ください。
- ※ セミナーの記録行為(録音・録画・撮影)、講演内容の転用、参加者の情報共有、加えてオンライン配信聴講では、記録行為(スクリーンショット)、聴講用URLの無断共有、チャットでの誹謗中傷を固く禁止いたします。誓約いただける方のみご参加いただけます。
- ※ 参加申込済みのお客様以外のご参加はお断りいたします。
- ※ お客様のご都合によるキャンセルは原則としてお受けしておりません。

### 【会場参加】

- ※ 会場内での講演を直接、あるいはプロジェクタースクリーンにてご聴講いただきますので、Zoomウェビナーへの接続は行いません。
- ※ ノートパソコン用電源のご提供は行いません。また、会場で提供されるパブリックWi-Fi接続を経由してのパソコン利用はご遠慮願います。
- ※ 会場内への飲食の持ち込みはご遠慮願います。

### 【オンライン参加】

- ※ 聴講には、パソコン等の情報端末とインターネット環境が必要です。インターネットの回線速度及びパソコンの動作検証についてはお客様にてお願いいたします。
- お申込み前に、当日使用する端末と場所で <https://zoom.us/test> にアクセスし動作確認テストを行ってください。
- 回線やパソコンの不具合により、万一聴講ができない場合、後日の再開催やオンデマンド配信等の対応はしておりません。
- ※ Zoomアプリでの聴講を推奨いたします。Zoomアプリは最新版をお使いください。Zoomアプリが利用できない場合は、ウェブブラウザからでも聴講が可能です。ただし、複数端末での聴講は認めておりません。

お問い合わせ先

一般社団法人KEC関西電子工業振興センター  
専門委員会推進部 事務局 西川 哲弘  
〒619-0237 京都府相楽郡精華町光台3丁目2番地2  
TEL : 0774-29-9041  
E-mail : publication01@kec.jp

案内詳細・  
お申込みはこちら



<https://www.kec.jp/seminar/psf25/>